

1. 科目名 (単位数)	生徒指導特論 (2単位)	3. 科目番号	EDMP5344
2. 授業担当教員	【池袋】丹 洋一 【名古屋】石崎 達也		
4. 授業形態	講義・演習・集団討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「学級経営学特論」と合わせて履修することが望ましい。		
7. 講義概要	生徒指導に求められているのは、児童生徒の自発性と自律性を育み、自己指導能力を育成することであり、これは教育課程にある全ての教育活動を効果的に実践する上において必要なものである。つまり、生徒指導は、学校教育の根幹を支える重要な教育活動であり、すべての教師がすべての児童・生徒を対象に行うことが求められる。本講義では、まず、この広義の生徒指導を構成するところの①生徒指導(狭義)、②進路指導も含むキャリア教育、③教育相談について、その理論的枠組みについて概説し、現状及び課題について考察する。その上で児童・生徒の問題行動を取り上げ、開発的、予防的なかかわり方について考察する。さらに、児童生徒理解や問題行動のとらえ方、児童生徒と教師の教育的関係の構築に関する理論・実践を検討・分析の中で、受講者各自の生徒指導への関心・問題意識をもとにした研究テーマに関する指導・助言も行う。		
8. 学習目標	<p>教師による生徒指導は、個人的な経験に偏ることなく、教育的事象を検討・分析する力と、その結果に基づいて諸問題を解決することが求められる。一方で生徒指導は児童生徒の育成にかかわる活動であるため、理論と実践を有機的に結びつけることが求められる。そのため本講義では、生徒指導に関する理論の理解のみならず実践的な方法や技術を身につけることを目指す。主な学習目標は次の4点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導に関し、先行研究の分析・考察を行うとともに、その特質について、多角的な視点から捉え、批判的な視点をもちつつ論じることができる。 2. 発達段階に応じた児童生徒理解のあり方について、理論・方法を分析・考察するための先行研究を分析・考察し、批判的な視点をもちつつ多角的な視点から論じることができる。 3. 教育課程外の教育活動(生徒指導、キャリア教育、教育相談)の構造と内容について、多角的な視点から論じることができる。 4. 個々の事例における児童生徒の問題行動の特徴や課題に応じて、自ら予防・解決に向けた対策を立てることができる。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>事前に配布された資料は、熟読し、要点を報告できるようにしておくこと。また、次の内容については予習しておくことが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の問題行動の現状と課題 ・現代の若者が抱えている諸問題に関する課題と支援策 ・進路指導とキャリア教育 ・教育相談 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省『生徒指導提要』教育図書、2011年。*文科省HPより無償でダウンロード可能</p> <p>【参考文献】 高橋哲夫編『生徒指導の研究』教育出版、2009年。 生徒指導資料第1集『生徒指導上の諸問題の推移とこれからの生徒指導』ぎょうせい、2009年。 楠本恭久編著『新 生徒指導論 12講』福村出版、2009年。 広岡義之編著『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導論 —「生徒指導提要」に触れつつ』あいり出版、2013年。 日本生徒指導学会『現代生徒指導論』学事出版、2015年。 文部科学省『キャリア教育の手引き』教育出版、2011年。 角田豊他著『子どもを育む学校臨床力:多様性の時代の生徒指導・教育相談・特別支援』創元社、2016年。 角田豊他著『子どもとの関係性を読み解く 教師のためのプロセスレコード:学校臨床力を磨く自己省察とグループ省察会』金子書房、2019年。 *その他、発展的学習のための参考書は必要に応じて授業の中で紹介するので、図書館を活用すること。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導に関し、先行研究の分析・考察を行うとともに、その特質について、多角的な視点から捉え、批判的な視点をもちつつ論じることができたか。 2. 発達段階に応じた児童生徒理解のあり方について、理論・方法を分析・考察するための先行研究を分析・考察し、批判的な視点をもちつつ多角的な視点から論じることができたか。 3. 教育課程外の教育活動(生徒指導、キャリア教育、教育相談)の構造と内容について、多角的な視点から論じることができたか。 4. 個々の事例における児童生徒の問題行動の特徴や課題に応じて、自ら予防・解決に向けた対策を立てることができたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成績評価は、①授業態度(30%)、②課題レポート(40%)、③研究発表(30%)の成果によって決められる。 2. 大学院修士課程のレポートとして一定の基準に満たないものについては、基準を満たすまで書き直しが求められる。 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>大学院では「先行研究の読解力」「論理的思考力」「学術的文章の作成力」の向上が求められている。受講生は、研究論文作成に向け、講義に受け身の姿勢で臨むのではなく、自ら進んで文献・資料収集、調査研究を行うなど、試行錯誤しながら学びを深めていかなければならない。そこで、本講義でも教育研究に求められる諸能力を高められるように指導・助言を行う。さらに、秋期の「学級経営学特論」と合わせて履</p>		

	修することにより、生徒指導の視点を取り入れた学級経営のあり方についてより深く学ぶことができるだろう。
13. オフィスアワー	丹 洋一：事前にアポイントをとってください E-mail: yotan @ ed.tokyo-fukushi.ac.jp 石崎達也：事前にアポイントをとってください E-mail: taishiza @ ed.tokyo-fukushi.ac.jp
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】	
1. テーマ	生徒指導特論を学ぶ目的
【学習の目標】	本講義の目的である教師の実践力形成と何か、なぜ必要なのかについて理解する。
【学習の内容】	講義ガイダンス、アイスブレイキング、グループ討議を行う。
【キーワード】	生徒指導 異質性 価値観 共有
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	学習に際し、常に自らの問題意識を明らかにするよう努力する。
2. テーマ	生徒指導の概要と原理
【学習の目標】	生徒指導の概要と活動を支える原理について理解する。
【学習の内容】	生徒指導の定義と課題、内容について、活動原理としての人間観、自己指導力、集団効果などについて学ぶ。
【キーワード】	教育課程 自己指導力 人間観 自由と安全 価値観
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第1章)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	異質性に対して柔軟かつ寛容な姿勢で臨むことを心がける。
3. テーマ	生徒理解
【学習の目標】	生徒理解の概要と方法について理解する。
【学習の内容】	生徒理解の必要性と定義、内容と留意点について、さらに観察法と面接法について学ぶ。
【キーワード】	共感的理解 観察法 面接法
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第3章)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	生徒理解に関する心理学の概要について自習しておくこと。
4. テーマ	生徒指導(狭義)の主体と組織
【学習の目標】	生徒指導の意義と内容を確認し、主体と組織並びに教師の共通理解の必要性とその際の課題について理解する。
【学習の内容】	生徒指導部の活動、校務分掌の在り方、校内組織との連携について学ぶ。
【キーワード】	生徒指導部 校務分掌 連携
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第4章)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	心理学、教育学、社会学など生徒指導を理解するために必要と考える知見を自学自習しておくこと。
5. テーマ	教育活動と生徒指導
【学習の目標】	教科教育、道徳、特別活動における生徒指導について効果と限界について理解する。
【学習の内容】	教育課程における教育活動取り上げ、そこにおける生徒指導の実状について学ぶ。
【キーワード】	教科教育 学級活動 道徳
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第2章)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	教育に関する新聞やインターネット記事など社会の現状を報告するものに鋭敏に反応すること。
6. テーマ	生徒指導と連携
【学習の目標】	家庭、地域との連携の必要性とその際の学校の役割について理解する。
【学習の内容】	連携する際の要点を整理すると同時に、学校の機能について学ぶ。
【キーワード】	家庭 地域 連携
【学習の課題】	理不尽な家庭の要求など現代における家庭と連携の在り方について自分の考えを持つこと。(教科書 第8章)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	教育に関する新聞やインターネットの情報などに目を通しておくこと。
7. テーマ	問題行動の理解(1)
【学習の目標】	問題行動とは何かについて、定義と分類を理解し、そのうえで早期発見の必要性を理解する。
【学習の内容】	反社会的、非社会的問題行動を取り上げその概要を学ぶと同時に早期発見の必要性についても実践的に学ぶ。
【キーワード】	反社会的問題行動 非社会的問題行動 早期発見
【学習の課題】	問題行動のなかから関心のあるものを選び、原因や対処法などについて整理する。(教科書 第7章)
【参考文献】	『新生徒指導論12講』、新聞等資料
【学習する上での留意点】	教育に関する新聞やインターネットの情報などに目を通しておくこと。
8. テーマ	問題行動の理解(2)
【学習の目標】	不登校、いじめの実情と対応について認知的に正確に理解する。
【学習の内容】	不登校、いじめの実情を踏まえた上で、その予防策や解決策について討議する。
【キーワード】	不登校 いじめ
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第6章II)
【参考文献】	『新生徒指導論12講』、新聞等資料
【学習する上での留意点】	教育に関する新聞やインターネットの情報などに目を通しておくこと。

9. テーマ	進路指導の概要
【学習の目標】	進路指導の概要について理解する。
【学習の内容】	進路指導の意味と意義、目標、並びに内容と領域について学ぶ。
【キーワード】	啓発的経験 追指導
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第6章末)
【参考文献】	『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導論 —「生徒指導提要」に触れつつ』、新聞等資料
【学習する上での留意点】	教育に関する新聞やインターネットの情報などに目を通しておくこと。
10. テーマ	進路指導の今日的課題
【学習の目標】	進路指導の現状と課題について理解する。
【学習の内容】	組織と計画、並びに具体的進め方について臨牀的に学ぶ。あわせて昨今の青年期を取り巻く状況について学ぶ。
【キーワード】	キャリア教育 フリーター ニート
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第8章後半)
【参考文献】	『教育実践に役立つ生徒指導・進路指導論 —「生徒指導提要」に触れつつ』、新聞等資料
【学習する上での留意点】	教育に関する新聞やインターネットの情報などに目を通しておくこと。
11. テーマ	教育相談の概要
【学習の目標】	教育相談の概要について理解する。
【学習の内容】	教育相談の意味と意義、目標並びに内容と領域について、さらには校務分掌、専門家(機関)との連携、担任の役割について学ぶ。
【キーワード】	コンサルテーション 人間関係 プロモーション
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第5章前半)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	カウンセリング心理学の基礎的知識を補充しておく。
12. テーマ	教育相談の組織と計画及び進め方
【学習の目標】	教育の展開と特質について理解する。
【学習の内容】	教育相談の場についてと具体的展開について学ぶ。
【キーワード】	相談室 面接 問題の見立て 守秘義務 倫理
【学習の課題】	講義内容の要点を整理し、小レポートにまとめること。(教科書 第5章後半)
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	カウンセリングの基礎的知識を補充しておく。
13. テーマ	事例に学ぶ生徒指導①
【学習の目標】	事例研究を通して、生徒指導に関する多角的な視点を養い、問題の発見・分析・意志決定などの問題解決能力を培うこと。
【学習の内容】	個別の事例を通して生徒指導のあり方を深く理解し、自ら予防・解決に向けた対策を立てること。
【キーワード】	事例研究法・シカゴ方式・インシデント プロセス法
【学習の課題】	事例研究を通して学んだことを小レポートにまとめること。
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	自らの生徒指導体験を事例として報告すること。
14. テーマ	事例に学ぶ生徒指導②
【学習の目標】	事例研究を通して、生徒指導に関する多角的な視点を養い、問題の発見・分析・意志決定などの問題解決能力を培うこと。
【学習の内容】	個別の事例を通して生徒指導のあり方を深く理解し、自ら予防・解決に向けた対策を立てること。
【キーワード】	学校臨床・自己省察・多様性・個別性・関係性
【学習の課題】	事例研究を通して学んだことを小レポートにまとめること。
【参考文献】	授業内で配布する「参考文献一覧」を参照
【学習する上での留意点】	自らの生徒指導体験を事例として報告すること。
15. テーマ	ふりかえりと総括
【学習の目標】	本講義のまとめを行う。
【学習の内容】	前半で講義全体を振り返りながら討議し、後半でまとめを行う。
【キーワード】	討議とふりかえりによる学びの深化
【学習の課題】	生徒指導研究の意義と課題について討議し、自らの考えを深めること。
【参考文献】	特になし
【学習する上での留意点】	本授業で学んだことを意見交換しながらふりかえり、自分なりに総括すること。